

(6.9.12)

本日、ここに9月定例府議会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、御多忙の中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

今回提案させていただいております議案につきまして、御説明申し上げます。

第1号議案令和6年度一般会計補正予算につきましては、当初予算編成後に生じた課題に対応するとともに、来年度に向けた準備に取り組むため編成したものであります。

まず、大阪・関西万博に向けた準備についてであります。万博来場者の府域への誘客を図るため、オール京都で知恵を出し合ったフラッグシップ・アクションの準備に着手することとし、万博期間中における府域の魅力を高めてまいります。

具体的には、京都の茶文化を発信するため、茶人や茶商、茶の生産者などが一体となって、本年秋にプレ・オープニング茶会を開催し、機運醸成を図るとともに、来年度に実施予定のお茶体験イベントなどの開催に向けた準備に着手します。また、京都駅周辺を、京都らしさあふれる玄関口として府域への誘客を推進するため、府域イベントの案内スタッフの確保・育成や、駅周辺エリアでのイベント企画などに取り組めます。

加えて、京都の新たな夜の文化観光コンテンツを世界に発信するための府立

植物園における生物多様性をテーマとしたメディアアートの開催や、「音楽が日常を彩る京都」を創出するための吹奏楽や合唱などに励む小・中・高校生の発表会の開催などの準備に着手します。

次に、事業活動や府民生活を守る対策として、中小企業や社会福祉施設、保育所・幼稚園等における生産性向上に向けた好事例の横展開を図るためのワークショップなどの開催を支援するとともに、生産性向上に資する設備導入などを支援します。また、L P ガスを利用する消費者の負担軽減を図るとともに、化学肥料などの価格が高止まりする中、生産コストの抑制と府内産堆肥の地産地消を推進するため、堆肥の購入・運搬に係る経費について、農業者への支援を実施します。

さらに、7月23日に開催した府市トップミーティングで表明した内容に基づき、府立高校と京都市立高校が連携した取組みとして、府立・市立の高校生が日頃の探求学習の成果発表や意見交換を行う機会を創出します。

加えて、丹後地域における歴史・文化の探訪と観光の拠点として、丹後郷土資料館のリニューアルを実施します。

以上、補正予算案の総額は10億 1,700 万円であります。

このほか、特別会計の補正予算や条例の改正、工事請負契約、決算認定に係る案件など、全15件の議案につきまして審議をお願いしております。

御議決いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。